

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都生協山科計画 SC棟	階数	地上2F
建設地	京都市山科区西野山中臣町41番地ほか(一部)	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,620 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2019年4月26日
敷地面積	4,922.52 m ²	作成者	一級建築士事務所 株式会社東洋設計事務所
建築面積	2,818.47 m ²	確認日	2019年4月26日
延床面積	4,925.27 m ²	確認者	一級建築士事務所 株式会社東洋設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参照値: 100% ②建築物の取組み: 83% ③上記+②以外の: 81% ④上記+: 81% <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>ゆとりある階高設定により、開放感のある売場環境を提供</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>特になし</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>外装・内装仕上げ材は耐用年数の長いものを使用</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>接道部・駐車場周辺に緑地を設けることにより、良好な景観を形成している</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明設備の設置</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型器具の採用により水資源の保護に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂=81%</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される